

那珂市議会教育厚生常任委員会記録

開催日時 令和6年4月23日（火）全員協議会終了後

開催場所 那珂市議会全員協議会室

出席委員 委員長 寺門 厚 副委員長 花島 進
委員 榊原 一和 委員 原田 悠嗣
委員 鈴木 明子 委員 富山 豪

欠席委員 なし

職務のため出席した者の職氏名

事務局長 会沢 義範 次 長 秋山雄一郎
書記 田村 栄里

会議に付した事件

（１）調査事項について

…教育厚生常任委員会での今後の調査事項について協議

開会（午後0時21分）

委員長 挨拶は時間の都合上、割愛させていただきます。

開会前にご連絡いたします。換気のため廊下側のドアを開放して常任委員会を行います。

ご理解ご協力のほどよろしくお願いします。

ご連絡いたします。会議は公開しており傍聴可能とします。また、会議の映像を庁舎内のテレビに放送します。会議内での発言は必ずマイクを使用し、質疑答弁の際は簡潔かつ明瞭をお願いいたします。携帯電話をお持ちの方は、電源を切りいただくかマナーモードにさせていただきたいと思います。

ただいまの出席委員は6名でございます。欠席はありません。定足数に達しておりますので、これより教育厚生常任委員会を開会いたします。

職務のため、議会事務局職員が出席をしております。よろしくお願いします。

それでは、これより議事に入ります。今日は調査事項、今年度の教育厚生常任委員会の調査事項についてを議題といたします。

これまでの調査事項の経過につきましては、サイドブックスのほうにまとめてありますので、参照していただきたいと思います。

これまでの経過を踏まえまして、当委員会で今後調査等を行いたい案件について、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。ということで何か、今年度これをしたほうがいい、あれを調査したいというのがございましたら、遠慮なく。

鈴木委員 子育てについて、教育についてなんですけれども、学校給食のことで有機野菜を使

っているっていう市町村が結構出てきておりますので、近隣にもありますので、そういったところの調査なども、いい悪い別にして調査などを行うのはどうかと思っております。

委員長 学校給食の状況調査ですね。有機野菜の使用等も含めてということですね。

ほかございますか。

榊原委員 私も鈴木委員と同様なんですが、今年9月から民間委託っていうことも始まりますし、いろんなものを含めて今の有機野菜ももちろんそうなのかもしれない。でもいろんな意味を含めてちょっと学校給食についてやっぱり曲がり角的なところもちょっとあると思いますので、そののこのところに対して調査っていうのを私も思っているところでございます。

以上です。

委員長 給食について今後の情勢も含めて将来どうあるべきかっていうところも含めて、調査したいということですね。

原田委員 僕も鈴木委員と同じでオーガニック給食ということで、これ同じ場合も言ったほうがいいですかね。ということで、お願いいたします。

鈴木委員 有機野菜もそうなんですけど、でも先ほど榊原委員もおっしゃっていたように、学童のほうで民間委託されるということで、ほかの市町村だったりとかで民間委託してるところの問題点だったりとか、いい点だったりとかっていうところも実際分からないところがあるので、そういったところも見えていきたいなっていうのはすごく思いますし、それを那珂市に反映していくっていうこともできるのかなっていうのも思いました。

委員長 学童保育についてちょっと調査したい。

鈴木委員 学童保育なので、学校の保育ですよ。学童保育。

(複数の発言あり)

委員長 給食じゃなくて。今度民間委託という話があるので、それについてちょっとどうなのかなっていうのを調べたいということ。

副委員長 私、全然反対じゃないんですが、学校給食に関しては、今二層化が結構進んでるんですよね。どういう考えでやってるかとか、それから予算のやりくり。大体どこも一般会計予算の1%ぐらい必要になって、結構大きな額なんで、その辺どういう考えで確保したのかどうかも含めて、学校給食やるならば聞きたいところです。

あと有機野菜って言っても、私は基本的には有機じゃなくていいと思ってるんですね。減農薬とか。だからそういう幅広げて聞きたいなと思います。学童保育については、どの範囲を調べるかで、いわゆる完全民間のやつもあるんですよ。だからそれを含めて調査するのか。私は全般的に調査したらいいと思うんですが、1年間でどこまでやるかって話があるので。とりあえずは1年の計画、続けてもいいんですよ。

委員長 教育厚生は1年間で、12月でもう最終こういうふうにしましょかね、要望しますよ

っていうのを出しちゃいたいということ。結果はね。

富山委員 皆さん学校給食っていう形で、テーマを出していただいたと思うんですが、学校給食もどこに照準を充てることによって、見方も変わってくるし、市に出す要望も変わってくると思うから、ある程度こう、絞らないと。結果的に、あれもこれもになると、ちょっと1年間で間に合わないっていう事態になるんで、例えば給食残を減らすにはとか、あと今言った無償化をやっている先進自治体行くのか、それともオーガニックをやっているその先進自治体に行って、市のほうにオーガニックを進めてくださいってもっていくのか、無償化を進めていくのかっていう、その給食って言ってもそこから枝分かれによっていろいろ変わってくると思うんで、その辺を皆さんでぎゅっと統一するんであれば、私も学校給食、いいものにしていきたいと思いますんで、いいと思っております。

鈴木委員 私はオーガニックもそうなんですけれども、地場産の野菜だったり、お米っていうのを使っていくっていうことを進めていきたいなという思いがあるんですけれども、その地場産の食材をもっと増やすにはどうしたらいいかっていうことに集中してとかっていうことでもいいのかなっていう思いがあります。

委員長 地産地消の状況。

榊原委員 オーガニックとかっていうふうに出てきて、もちろん減農薬とかってこれちょっと確かにおっしゃるとおりではあるんですが、多分調べていくうちに、農家さんによっても考え方が絶対変わってきちゃうと思うんですよ。

もちろん、減農薬無農薬っていうところにもこだわってやられてる方もいらっしゃると思うんですけども、私もちょっといろいろ農家さんとお話する機会って多いんですけども、やっぱり商売としてももちろんこれやられてるわけですから、そういうところを踏まえたときに、もちろんこういう理想論っていうふうにやっぱり捉える農家さんっていうのはもちろん出てくる。だからって大量農薬使ってるわけじゃないけれども、そういうところにやっぱりちょっと温度差って絶対これ出てくると思うんですよ。この件に関してはね。だからそのところも踏まえてちょっと慎重にいかないと、この件に関しては、と私は思っております。

委員長 地産地消の場合は、一応食材の受入れは市のほうでやりますので、調理だけなんですね、委託の場合は。ですからここは密接にそのままダイレクトに要求したものがそのまま反映されますので、変えてくれって言えなくなりますんでね。それはいいと思いますけど。

(複数の発言あり)

委員長 使ってるんですけども、今形がふぞろいで使えないだとか、量が足りないとか、緊急時に間に合わないだとかっていろんな理由があるんですけども、それ別にしてもう少し、今3割とか4割とか言われますけどね。もう少しというのと。

原田委員 僕はやっぱりオーガニック給食っていうのをやっていきたいな、調べたいなってい

うのがありまして、その理由としては、やっぱり農薬の中にあるネオニコチノイドとかそういったものが、体に有害なんじゃないかっていう話とかもありますし、農業にしても現在はやっぱり結局、モンサント、バイエルンなどのグローバル企業が日本にF1の種を売って、化成肥料もモンサント。それに合う農薬もモンサントってということで、結局外国に日本の農業に握られているっていう状況なので、もともと江戸時代とかもちろん化成肥料なんか使わないで農業をやっていたわけですし、そういう日本の農業を守るっていう意味でも、オーガニック給食っていうのは一つの有機農業の出口として、有機農業はもうかる農業にもなるなと思うんですけど、人件費はかかりますけど資材がかからない面と、あと付加価値として高く売れるっていうので。お米なんか僕の知り合いの方なんかは無農薬米1キロ700円とかで売ってて、普通のお米の3倍ぐらいの値段で売っても完売するというような感じなので。あとは国としても、農水省のほうで緑の何でしたっけ、緑の戦略みたいなものとかも進めてるんで、ぜひやりたいなというのが僕の思いではあります。

副委員長 有機野菜にしろお米にしろ、忘れてはならないのは、コストがかかるということですよ。高く売れるとおっしゃったのは、結局我々が調達するときにより多くの食材費を払わなくちゃならないということなので、それを含めて調査にしなければいけないと思います。

委員長 それでは、皆さんご意見いただきましたんで、テーマとしては学校給食で、中身を地産地消であるとかオーガニックであるとか、給食費無償化ですとか、給食残量ですとか、いろいろ出てきていますけれども。

副委員長 絞ったらっていう話があったので、有機関係あるいは減農薬と、地場産の割合を高める活動ということにある程度絞って、その行った先で無償化についてもどういうふうに考えてるかどうかやってるかっていうのも、ついでに聞くと。優先順位をつけてやらどうかと思うんですが。

委員長 今副委員長から提案ありましたように、やっぱり地産地消の中には、オーガニックも当然入ってきますし、いろいろ複合されてきますんで。そのテーマでいいですかね。

富山委員 そもそも、学校給食の今那珂市の現状ってどれほど出てどれほどの残が返ってきて、子供たちが果たしてそれおいしいと思って満足して食べてるのかどうかっていうのが1番の最初の現状にあって、2番目はほかの先進自治体行くんであれば、きちんと給食がもう楽しみであって仕方ないぐらいおいしい給食を出してるところもあると思うんですけど、しっかり食べてもらう給食ってどういう給食なのかなっていうのが、多分1番の根本的なところにあるって、それに付随してオーガニックがあったり、無償があったりで、私はそんな考えなんですけどね。オーガニック給食が全て丸々おいしい給食であるっていう保証も今のところはないですし、体にいいものでも、子供たちが食べなければ、残出しちゃうような給食ではいけないっていうのは、基本の心の中にございます。

体にいいものおいしいもの、イコールにはつながってないと思うんでその部分も含めてオーガニック給食って今後どうやって伸びていくのかなっていうのも含めて、オーガニックを含めてであれば、私は考えてもいいなと思ってて。基本、やはり食べられる給食、おいしい給食、果たして那珂市は今現状うまくいってるのか、ほかはどのようにやってるんだってというのは、1番の部分かななんて思っちゃうんですけど。

副委員長 富山委員の意見に賛成です。まず調査に行くのもそうだけど、まずは、那珂市の現状を調べるってことですよね。それからもう一つは、有機でうまいかどうかって、実は個人的な経験で、昔我が家で妻が主導でやってたんですけど、無農薬栽培の野菜類をずっととってたことあるんですよ。まずかった。それでやめちゃったんです。

今は減農薬の人、有機なんか使ってるところで東海村から、毎月向こうにお任せでとってるんですが、それはおいしい野菜が多いです。

だから単純に有機ならいいとか、そうじゃないってということだと思いますね。農家の方も、もともと全然農業に関係なくて、親父さんは原研の職員だった方で、全然違う分野の方で農業始めたんですけど、どっかの先生に教わって始めたらしいです。例えば新しいのをつくったときに出来が悪かったり最初するんですけど、例えば、一例では枝豆がしょぼかった。ただ年を越すにつれだんだん、いいもんできているってということだと思いますね。

ただ現状は単純じゃないってというのはおっしゃるとおりだと思いますね。

富山委員 もう一つやっぱり有機野菜、鈴木委員も原田委員もやりたい、勉強したいっていうところもあるっていうんで、やっぱり有機野菜の給食を提供しているところで本当に果たしてきちんと食べられてるのかっていう目線で調査に入って、有機給食がどれだけ今、求められてるのかっていうのを知る機会には必ずなると思うんで、その調査も含めて総合的にやればいいのかなんて。まず基本は、おいしい給食、食べられる給食ってどういうものかっていう、今の現状を調べて、果たしてこの量で、今子供たちは足りてるのかなとか、そういうのもちょっとこう見てみたいなという思いはあります。

だからそれを軸に持っていけばいいのかなんていうのは考えます。決してオーガニックは、私も興味ありますんで、その部分はあくまでもやっぱりオーガニックを今現状やってるとこはどれだけの満足度があるのかなとか。果たしておいしいのかなっていうのも私も興味がありますんで。

委員長 確かに私も、おいしい給食なのかどうかっていうのは非常に。子供たちもやっぱりおいしい日とおいしくない日がたくさん、交互にあるので。これ調理師のレシピ、調理の問題もあるんですけど、あとやっぱり素材のおいしさが重要なところなんです、農業の方も本当に有機栽培でつくったものが、おいしい給食にイコールとは限らないよというふうには言ってますんで、生産者の方。やっぱりそのおいしい給食について、地産地消もそうですし、オーガニックもどうなんだっていうところを調べていけばいいのか

な。取りあえず現状をきちんと把握して、次何を提案していくかっていうふうにまとめていけばいいですかね。

事務局長 余り農業のほうに偏ってしまいますと、その所管は産業建設常任委員会でありますので、あくまでも給食の部分というところでのその野菜の使用とかっていうところで、委員長のおっしゃるとおりになりますので。

あともう1点なんですけど、一応新人の委員いらっしゃるので、申合せ事項のほうの確認をさせていただきたいと思います。こちらのほうで一応申合せの中で、所属する委員会が、特定の調査項目を定めて現在調査している事項についての一般質問は行わないように努めるとか、そういうことがありますので、あくまでも委員会の中で調査してるんですから、それを一般質問でっていうところまでの話を、申合せの中で決めてるところがありますので。

(複数の発言あり)

委員長 センター行って実際に食べないと話にならないんで、実際はね。センターも含めてです。

どういうところで誰が、どういうふうに、食材はとかいうのがさっき出てきた話なので、その先のオーガニックということでは、専門的過ぎちゃう。そこまではいかんということでもとめて、そういうことで調査をしていきたいと思いますが、よろしいですか。

あとはまずは、地元で、ちゃんとできてるものを食べないと話にならないので。そこからスタートしますけれども、今後はまた後ほど、副委員長と話して、皆さん方にこういうスケジュールでこういうことでいきましょうというところまではお話しするようにまとめたものを、ちょっと皆さん方にお配りしますんで。それでまたあれば、言っていたければ。時間かからないんで。

(複数の発言あり)

委員長 大まかなスケジュールは、次回の全員協議会は28日でしたよね。

(複数の発言あり)

事務局長 事務局の都合で大変恐縮ですが、一般質問の締切日は、議員から上がってきた通告を全部作り直したものを総務課に送らなくてはならなくて、結構厳しかったりするんです。

(複数の発言あり)

委員長 27日の月曜日10時からで、約1時間。

(複数の発言あり)

委員長 ということで、取りあえず予定させていただいてよろしいですかね。

以上で、本日の教育厚生常任委員会は終了といたします。

お疲れさまでした。

閉会（午後0時43分）

令和6年4月23日

那珂市議会 教育厚生常任委員会委員長 寺門 厚